

従業員向け 児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。
「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	改善が必要だと思われる点	工夫していると思う点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	・落ち着けるスペースがほしい	・限りあるスペースであるが子どもに応じて落ち着けるようにマットやパーテーション、机などを活用してそれぞれに応じたスペースを確保するよう努めている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0		・特に配慮が必要な子がいる日は職員の人数にゆとりがあるのでゆったりと支援できている ・何かあった時のために可能な限り職員配置は基準よりゆとりを持った配置になるよう努めている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0		・子どもたちのロッカーにお名前カードを設置したり、玩具の場所にも○xがつけられたりと子どもたちが視覚で確認しやすい空間にしている。 ・危険が無いようにできるだけ、部屋の中の物をなくすようにしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0		・毎日、支援後に清掃をしている。清潔感のある環境を心掛けている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	・個別で対応したいときの部屋数は少し足りないと感じることがある。	個別対応ができるように職員配置などのバランスを考えながら限りある室数でも対応できるように取り組んでいる。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2		個別に支援プログラムを作成し、職員が自由に閲覧できるようファイリングしている。また新規の利用者や支援プログラムに変更があった場合は会議や共有ノートなどを通していつでも確認できるようにしている。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	・勤務形態によっては支援プログラムを時間の都合で確認できていないことがある。	変則的な勤務時間の方にも閲覧してもらえるように共有ノートなどを利用し共有している。また計画に合った支援が行われているか会議などでケース会議をして確認している。また支援中にも職員同士が声かけをしたり振り返りの時間や朝礼などを通して注意事項や支援内容を伝えるようにしていく。支援前に確認できる時間を作るなど、支援に入る全ての職員が把握できるように今後も強化してい
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1		

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1		・活動プログラムは似たものになりがちだがその方がよい子もいるのでそ利用する子どもたちに応じて臨機応変に対応できるようなプログラムを考えている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1		・送迎が終わると退勤時間のため職員間で話す時間を作るのは難しいので支援のある日の朝に朝礼などを通して打ち合わせ等をしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		毎月の会議で支援の共有、改善策をみんなで話し合いをするなど日々の支援に繋げるよう努めている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	園によって情報共有のしやすさ、しにくさがあると感じる。	今後、保育所等訪問の検討などで情報共有をしやすい環境の設定できるよう努める。また現在も必要に応じて利用児が併用している保育園等には情報交換するように努めている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	3		・行事などのタイミングで他の園の子どもたちや地域の子と関わる機会を提供している。 ・イベントなどを定期的に行っており地域の人との交流を作っている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		半年に1度面談を行い保護者の意見を確認し、支援計画に反映させている。また作成した後は保護者への確認している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	・父母会ではないが交流の機会は設けているが参加率が低いため改善の余地あり。	イベント開催の頻度を今後増やしていく予定。保護者同士が参加しやすくかつ繋がりやすい機会を考えている。日程や場所なども保護者が参加しやすいように考えていく。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		・職員会議で共有できていて、良いと思います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	・虐待防止研修はあまりない ように感じる	年に2回以上虐待防止研修を行っている。全職員が研修できるように、研修時の内容を録画してあるので視聴できるようにしてある。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0			